

実施回※	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (9/4)	<p>口腔衛生学の意義、歯・口腔の健康と機能</p> <p>①口腔保健の概要と健康の概念を説明できる。</p> <p>②予防の3相5段階を説明できる。</p> <p>③咀嚼の意義を説明できる。</p>	<p>[予習・復習]教科書 P1-5</p> <p>[キーワード]口腔衛生学、健康の連続概念、口腔と全身との関連、予防の3相5段階、咀嚼の意義</p>	○戸田
2 (9/11)	<p>歯・口腔の発育変化</p> <p>①歯と口腔の機能を説明できる。</p> <p>②歯と口腔の発育変化を説明できる。</p> <p>③歯の形成に必要な栄養素と役割を説明できる。</p>	<p>[予習・復習]教科書 P5-13</p> <p>[キーワード]歯・口腔の機能、摂食・嚥下、味覚、構音、歯胚形成開始期、石灰化開始期、萌出時期、歯の形成に必要な栄養素</p>	○宋
3 (9/25)	<p>口腔環境</p> <p>①唾液の作用を説明できる。</p> <p>②ペリクルの意義と特徴を説明できる。</p> <p>③エナメル質の萌出後の成熟現象を説明できる。</p> <p>④口腔常在菌の分布の概要を説明できる。</p>	<p>[予習・復習]教科書 P13-17</p> <p>[キーワード]唾液の作用、緩衝作用、抗菌作用、ペリクル、エナメル質の萌出後の成熟現象、口腔常在菌</p>	○荒川
4 (10/2)	<p>歯・口腔の付着物・沈着物(1)</p> <p>①プラークの形成機序と特徴を説明できる。</p> <p>②マテアリアルバの特徴を説明できる。</p> <p>③プラークの成熟による口腔細菌叢の変化を説明できる。</p> <p>④食物残渣とプラークとの関連を説明できる。</p>	<p>[予習・復習]教科書 P17-21</p> <p>[キーワード]プラークの構成・形成・成熟、歯肉縁上プラーク、歯肉縁下プラーク、プラークの口腔細菌叢、マテアリアルバ、食物残渣</p>	○戸田
5 (10/16)	<p>歯・口腔の付着物・沈着物(2)</p> <p>①歯石形成機序と特徴を説明できる。</p> <p>②着色性沈着物の特徴を説明できる。</p> <p>③舌苔の特徴と清掃法を説明できる。</p>	<p>[予習・復習]教科書 P21-25</p> <p>[キーワード]歯肉縁上・縁下歯石、歯石の特徴・形成機序、外因性・内因性着色性沈着物、舌苔</p>	○戸田
6 (10/23)	<p>口腔清掃(1)</p> <p>①プラークコントロールの意義を説明し、口腔清掃法を分類できる。</p> <p>②歯ブラシの構成を説明できる。</p>	<p>[予習・復習]教科書 P27-31</p> <p>[キーワード]自浄作用、機械的(人工的)清掃、専門的清掃、物理的・化学的プラークコントロール、手用歯ブラシの構造、電動歯ブラシ</p>	○戸田
7 (10/30)	<p>口腔清掃(2)</p> <p>①口腔清掃の補助清掃用具の特徴を説明できる。</p> <p>②歯磨剤と洗口剤を分類し、成分と機能を説明できる。</p>	<p>[予習・復習]教科書 P31-37</p> <p>[キーワード]歯間ブラシ、デンタルフロス、ワンタフトブラシ、歯磨剤、洗口剤、口腔保湿剤</p>	○戸田
8 (11/6)	<p>口腔清掃(3)</p> <p>①ブラッシングの方法と特徴を説明できる。</p> <p>②歯と口腔のライフステージに応じたリスクとプラークコントロールによる対処を説明できる。</p>	<p>[予習・復習]教科書 P38-42</p> <p>[キーワード]毛先を用いるブラッシング、脇腹を用いるブラッシング、ブラッシングの有害作用、歯垢染色剤、舌清掃</p>	○中向井

9(11/13)	う蝕の予防(1) ①う蝕の発生要因と発生機序を説明できる。 ②う蝕における脱灰と再石灰化平衡を説明できる。	[予習・復習]教科書 P43-48 [キーワード]う蝕の発生要因、宿主要因、微生物要因、食餌性基質要因、時間要因、う蝕の発生機序、初期う蝕の再石灰化現象	○戸田
10 (11/20)	う蝕の予防(2) ①う蝕活動性試験を分類し、特徴と判定方法を説明できる。 ②う蝕予防の3相5段階を説明できる。	[予習・復習]教科書 P48-54 [キーワード]う蝕活動性試験、エナメル質う蝕、根面う蝕、う蝕の予防方法、う蝕予防の3相5段階	○戸田
11 (11/27)	歯とフッ化物(1) ①フッ化物の意義と自然界での分布を説明できる。 ②フッ化物の代謝と急性毒性を説明できる。	[予習・復習]教科書 P55-60 [キーワード]フッ化物の意義、フッ化物の不可欠性、フッ化物の分布、フッ化物の代謝、フッ化物の急性毒性	○宋
12 (12/4)	歯とフッ化物(2) ①フッ化物の慢性毒性を説明できる。 ②フッ化物によるう蝕予防機序を説明できる。 ③フッ化物応用の歴史を説明できる。	[予習・復習]教科書 P60-64 [キーワード]フッ化物の慢性毒性、歯のフッ素症、骨フッ素症、フッ化物のう蝕予防機序、フッ化物応用の歴史	○戸田
13 (12/11)	歯とフッ化物(3) ①フッ化物全身応用と局所応用を分類し、特徴を説明できる。 ②フッ化物応用によるう蝕予防効果を説明できる。	[予習・復習]教科書 P65-72 [キーワード]フッ化物全身応用、水道水フロリデーション、フッ化物補充剤、フッ化物局所応用、フッ化物配合歯磨剤、フッ化物洗口、フッ化物歯面塗布、う蝕予防効果	○荒川
14 (12/25)	歯周疾患の予防 ①歯周疾患を分類できる。 ②歯周疾患の発生要因とリスクファクターを列挙できる。 ③歯周疾患予防の3相5段階を説明できる。	[予習・復習]教科書 P73-86 [キーワード]歯周疾患の分類、歯周疾患の発生要因、歯周疾患のリスクファクター、歯周疾患と全身疾患との関連、歯周疾患予防の3相5段階	○中向井
15 (1/15)	口臭・不正咬合・他疾患の予防 ①不正咬合の特徴と予防方法を説明できる。 ②口臭の特徴と予防方法を説明できる。 ③その他の歯科疾患の特徴と予防方法を説明できる。	[予習・復習]教科書 P87-97 [キーワード]不正咬合の種類、不正咬合の影響、不正咬合の原因、不正咬合の予防、口臭の分類、口臭の原因、口臭の測定と診断、口臭の予防、舌清掃、歯の損耗、マウスガード、顎関節症、口腔癌、着色歯・変色歯	○戸田

※時間割の変更が生じた場合には KDU ポータルサイト等にて周知します。